

あかぜしらやまじんじゃ つくばねがしりん
赤瀬白山神社のツクバネガシ林

種 別 小松市指定文化財 天然記念物
指定年月日 平成21年11月3日
所 在 地 赤瀬町

ツクバネガシはブナ科コナラ属の常緑高木^{じょうりよくこうぼく}で、その名は小枝の先につく輪状^{りんじょう}の葉が、羽根つきの羽根に似ていることに由来している。

石川県では南加賀が分布の北限とされており、小松市でも数箇所を確認できる。そのなかでも、赤瀬白山神社の社殿背後には、27本のツクバネガシにより最大規模の林が形成されており、植物地理学上非常に重要である。

また、人の手の介入が少なく、昔からの植生を良好に保っている点でも評価が高い。

